

-1-

AN - 82-212267  
TI - RUST PREVENTING AND CLEANING PAINT FOR METAL AND THE LIKE  
PA - (2459982) DAITO KOGYO KK  
IN - KURIHARA, MITSUGI; TOBE, KENICHI  
PN - 82.12.27 J57212267, JP 57-212267  
AP - 81.06.25 81JP-097566, 56-97566  
SO - 83.03.18 SECT. C, SECTION NO. 157; VOL. 7, NO. 66, PG. 31.  
IC - C09D-005/20; C09D-005/08  
JC - 14.7 (ORGANIC CHEMISTRY--Coating Material Adhesives); 12.6  
(METALS--Surface Treatment)  
AB - PURPOSE: The titled paint, prepared by incorporating a strippable  
paint with a reinforcing fibrous material, easily strippable at a  
low cost, and having improved rust preventing effect.  
CONSTITUTION: A strippable paint 2 previously reinforced with a  
bandage 4 or glass fibers is applied to an edge part 1 of a  
welding metal to form a layer having a film thickness of  
0.2-0.3mm. The resultant paint can be stripped without cutting at  
a part 3.  
USE: Rust prevention, dust removal of glass, metallic products,  
etc.

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開  
⑪ 公開特許公報 (A) 昭57-212267

⑥ Int. Cl.<sup>3</sup>  
C 09 D 5/20  
5/08

識別記号

厅内整理番号  
6779-4J  
6779-4J

④公開 昭和57年(1982)12月27日  
発明の数 1  
審査請求 有

(全 2 頁)

③金属等の防錆及びクリーニング用ペイント

⑦発明者 戸部健一

横須賀市三春町四丁目24番地

②特許 昭56-97566

⑧出願人 大東興業株式会社

②出願 昭56(1981)6月25日

横浜市南区南太田町一丁目117

⑦発明者 栗原貢

番地

横浜市中区本牧一丁目131番地

### 明細書

#### 1. 発明の名称

金属等の防錆及びクリーニング用ペイント

#### 2. 特許請求の範囲

- (1) 可剥性ペイントに補強用繊維素材を混入させて成る金属等の防錆及びクリーニング用ペイント。
- (2) 前記繊維素材が包帯である特許請求の範囲第(1)項に記載の防錆及びクリーニング用ペイント。
- (3) 前記繊維素材がガラス繊維である特許請求の範囲第(1)項に記載の防錆及びクリーニング用ペイント。

#### 3. 発明の詳細な説明

本発明は、金属等の防錆や異塊除去に使用されるペイントに関するものである。可剥性ペイントは物体の表面に塗布した後、テープ状に剥がせる特性を持ち、本来はガラスや金属製品に埃が付着するのを防止する被膜として使用される。また可剥性ペイントを母材金属の隅先部分に使用すれば、溶接時に改めて研磨する必要もなく、更にペイントを剥がすと同時に隅先部分の微粉も除去できる。

この可剥性ペイントの使用方法は、既に同出願人が出願している（特願昭55-27890号）が、その後、可剥性ペイントを剥離する際、途中でペイントが切れることがあり、もっとペイントの強度を増してほしいという要望があった。特にこの問題が生じるのは、金属隅先部分の下面であり、隅先の角度が锐利な程ペイントは切れ易い（第1図中3で示す部分参照）。隅先部分の形状はそれ程大きく変えられないから、ペイント側を改良しなければならない。

本発明は、可剥性ペイントに繊維素材を混入させて補強することによりこの問題を解決した。以下添付図面に従ってその具体例を詳述する。

第2図は、繊維素材として包帯4を用いたものである。可剥性ペイント2が浸み込む程度の繊維であれば、他の物でも差しつかえない。包帯4によって可剥性ペイント2は補強されることとなり、剥離中に3の部分で切断することもない。第3図は可剥性ペイント内に予めガラス繊維5を混入させた例である。尚、可剥性ペイントにはクリバ

ク(商品名)が好適であり、0.2~0.3mmの膜厚で充分な防錆効果が得られる。図面では被覆金属の開先部分のみを示したが、その他防錆や塵埃除去の必要な箇所にも本発明は使用できる。

以上のように本発明によれば、可剥性ペイントの鋼錆作業が著しく容易になるし、包帯やガラス繊維を採用しているから低コストで済む利点がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

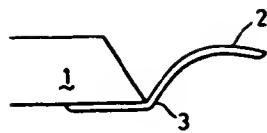
第1図は、従来例を示す拡大側面図、第2図及び第3図は本発明の実施例を示す拡大側面図である。

1…金属の開先部分、2…可剥性ペイント、3…ペイントの切断箇所、4…包帯、5…ガラス繊維

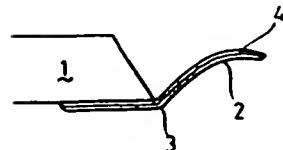
特許出願人

大東興業株式会社

第1図



第2図



第3図

